



デフリンピック

Deaflympics

ろう者の
オリンピック

- ・デフリンピックとは
- ・応援するためには
- ・視覚的情報保障とは



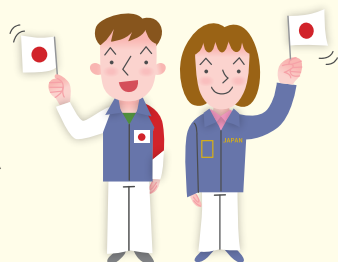
一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会

デフリンピック

デフリンピック (Deaflympics) とは?

きこえない選手のための国際的な
スポーツ大会です。

「Deaf」は英語できこえない人という意味です。オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会が2年ごとに交互に開催されます。第1回夏季大会は1924年にフランスで開かれました。競技ルールはオリンピックと同じルールですが、きこえない選手のための視覚的保障がなされた競技環境があることがデフリンピックの特徴です。



「世界一の高みをめざして夢咲かせよう」

第23回夏季デフリンピック サムスン2017

(2017年7月18日から30日 トルコ・サムスン市で開催)

ってなに？

視覚的保障って何？

音や審判の合図がきこえないという、
競技上、選手にとって不利な状況を、
視覚的に補うことです。

きこえない選手はスターターの音や審判の笛がきこえないために、プレーする上で、大きなハンデとなってしまいます。そのためフラッシュランプや旗などで競技上に必要な音声や審判の合図を知らせるなど、視覚的に情報が保障された競技環境が必要になります。

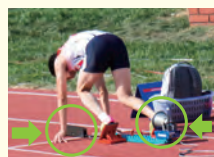
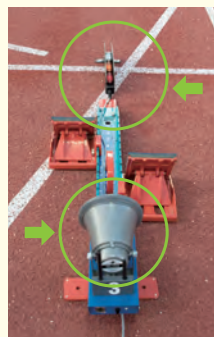


サッカー競技では主審もフラッグを

デフリンピックでは、陸上競技や水泳競技のスターターの音は、フラッシュランプを使って選手にスタートを知らせています。

サッカーやラグビーでは、審判が笛を吹くとともに旗または片手をあげることで反則などが起きたことを選手に知らせます。また、バスケットボールやハンドボール等、さまざまな競技でフラッシュランプ等を活用しています。

このような、さまざまな視覚的な工夫をした競技環境がデフリンピックでは整えられているのです。



陸上競技のスタートランプと音響装置



空手競技ではランプを設置



水泳競技のスタートランプ

きこえないことは スポーツをする上で ハンデなの？

きこえないことは、
“目に見えない障害”といわれています。

聴覚障害があることで、バランス感覚の異常、
得られる情報量の少なさなどから、練習や競技
上できこえる人と比べて不利な面があることが研究で報告されています。例えば、団
体スポーツではチームメイト同士の声かけ等で判断し、次への動きをとる場面が多い
ですが、それがきこえないと難しく、常にチームメイトとのアイコンタクトが必要で
す。さらに、個人スポーツでは、競技中の風の音や打球音、競技用具の音なども判断
材料となることがありますが、それがきこえない選手にとっては1つのハンデです。

このように、競技上における「目に見えないハンデ」に対する視覚的な情報保障や
手話言語によるコミュニケーションが必要だからこそ、きこえない選手同士で競技を
することに意義があるのです。



どのような人が出場できるの？

裸耳状態での聴力損失が55デシベル以上で、定められた出
場条件を満たした選手が出場資格を有します。

補聴器または人工内耳を外した状態で、きこえが良い方の耳の平均が55デシベル
以上であり、各国のろう者スポーツ協会(日本は全日本ろうあ連盟)の登録者のうち、
国内のデフスポーツ競技団体ごとに行われる選考競技会
にて、出場条件(記録、順位など)を満たした選手に出場
資格が与えられます。



また、競技会場に入ったら選手たちは試合や練習の
際、補聴器等を身につけることは禁止されています。これ
は、選手同士がきこえない立場でプレーするという公平
性の観点によるものです。

【参考】音の大きさはデシベル(dB)という単位により表し、数字が大きくなるほど音が大きいことを意味します。聴力レベルの目安としては、
60dBは普通の話声、70dBは掃除機の音、100dB以上で車のクラクションやジェット機の音がきき取れないといわれています。

どのような競技があるの？

夏季大会と冬季大会で以下のものがあります。

■夏季大会:(サムスン2017デフリンピックの競技)

陸上・バドミントン・バスケットボール・ビーチバレーボール・ボウリング・自転車・
サッカー・ゴルフ・ハンドボール・柔道・空手・マウンテンバイク・オリエンテーリング・
射撃・水泳・卓球・テコンドー・テニス・バレーボール・レスリング(フリースタイル、
グレコローマン)

■冬季大会:(ヴァルデッリーナ2019デフリンピックの競技)

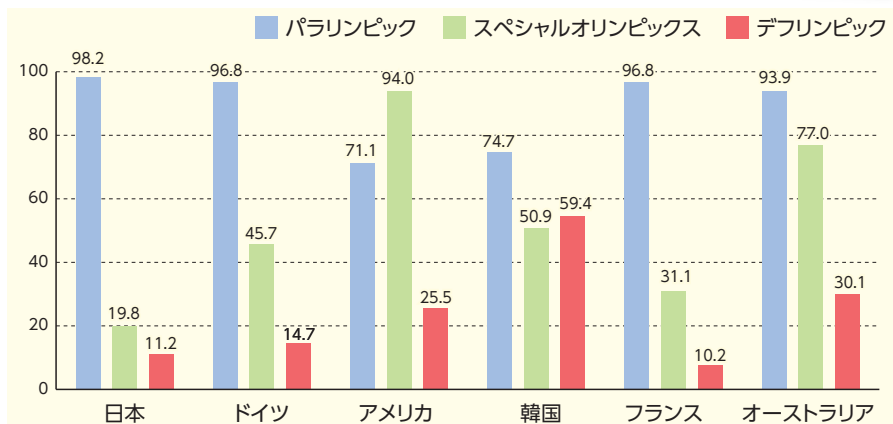
アルペンスキー・クロスカントリースキー・スノーボード・
カーリング・アイスホッケー・チェス

※青文字は国内にデフスポーツ競技団体があります(2022年1月現在)



デフリンピックは どのぐらい知られている？

デフリンピック コラム



2014年に日本財団パラリンピック研究会が行った調査結果では、国内でのデフリンピックの認知度は11.2%です。2006年に内閣府が調査したときは2.8%だったので、それと比べるとやや認知度は上がりました。

しかし、パラリンピックの認知度98.2%と比べるとまだまだ低いのが現状です。

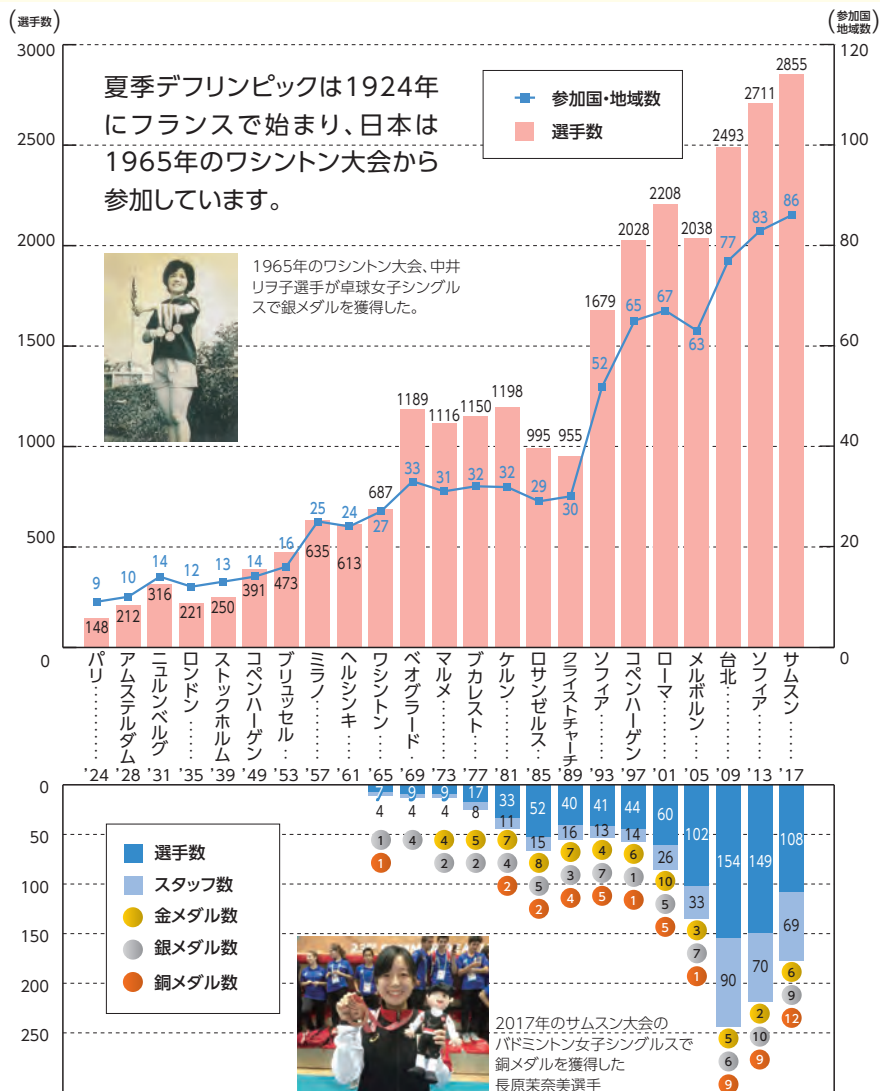
なお、パラリンピックにはきこえない人の競技種目がないため、出場できません。

【参考】・日本財団パラリンピック研究会調査:国内外一般社会でのパラリンピックに関する認知と関心 調査結果報告(2014):
http://para.tokyo/doc/survey201411_2.pdf

・内閣府(2006):平成18年度障害者の社会参加促進等に関する国際比較調査

デフリンピック

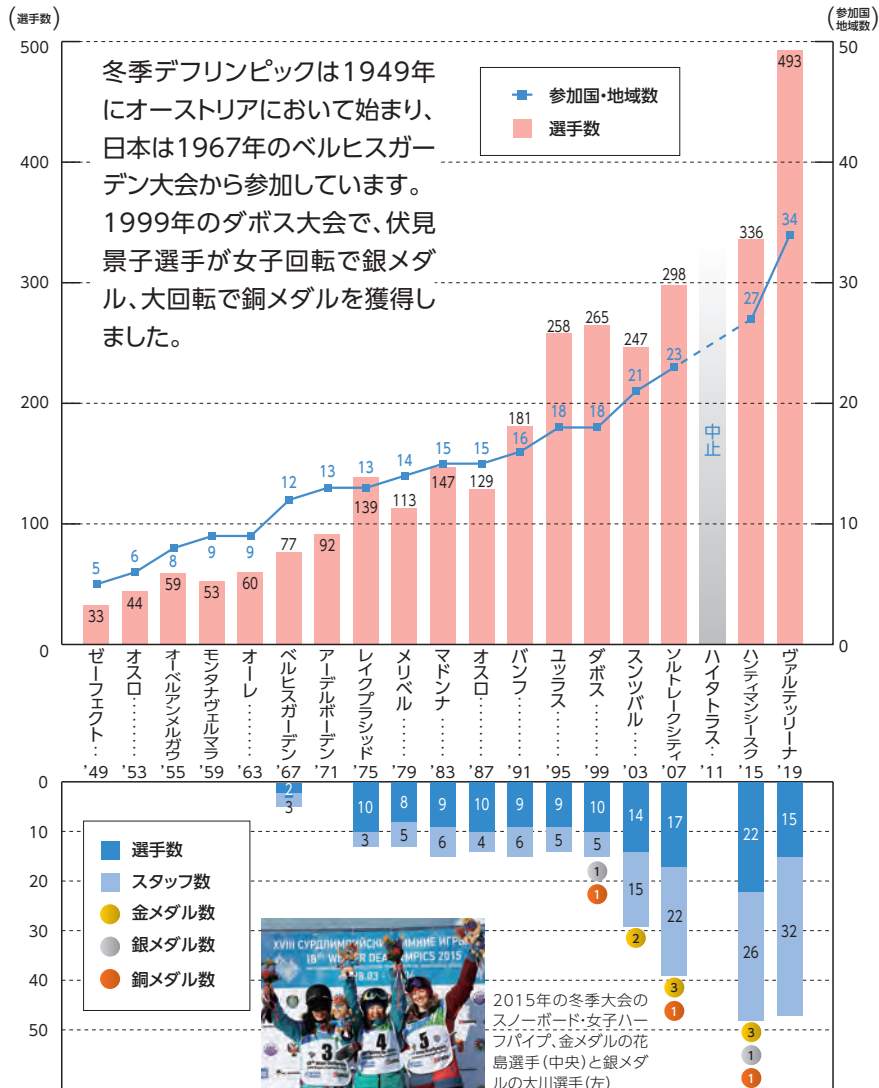
■夏季デフリンピック



の歴史



■冬季デフリンピック



デフリンピック

デフリンピックに どうやって出場できるの？

以下のような流れで、選手として出場できます。



STEP 1

デフリンピックの 情報を得る

- 学校での部活動で顧問から情報を受け取る
- ろうのスポーツ仲間との出会い
など、色々な背景があります

STEP 2

団体に連絡をとる

自分が得意とする競技種目(デフリンピック採用種目のなかで)のデフスポーツ競技団体や自分がいる都道府県ろう協会に相談する

※国内にどのような団体があるのかについては巻末に情報が載っています！

STEP 3

競技団体が実施する
合宿もしくは大会に
参加する

STEP 4

各競技団体が
定める強化指定選手の
条件をクリア

STEP 5

強化指定選手 として登録

デフリンピックに向けた
強化合宿に参加

STEP 6

日本代表選出、
デフリンピック出場

に参加するには？

どうやって応援できるの？

現地やHPのライブ放送で応援できます。

①デフリンピック応援ツアーに参加して現地で応援！

旅行会社が企画する応援ツアーに参加して、現地で応援してみませんか。

②現地まで行けない…そんなときは！

- 大会公式HP(英語)／大会全体の情報はコチラをチェック！サムスン大会ではライブ放送が行われました。
- 日本選手団特設サイト／日本選手の試合スケジュールや結果を載せています。
- デフスポーツ団体HP／各競技団体のHPではその競技の詳しい報告がご覧になります。

上記へはこちらのリンク集ページへアクセス！

<https://www.jfd.or.jp/sc/deaflympics>

デフリンピック
リンク集ページQRコード



どのような支援があるの？

まずはデフリンピック知名度UPにご協力ください！

デフリンピックはパラリンピックより認知度ははるかに低く、スポンサーが少ないため、経済的負担が大きかったり、遠征などで職場での休暇が取りにくいなどといった課題があります。

①デフリンピックグッズを買おう・使おう！

グッズ売り上げによる収益は、日本代表団派遣のために使われます。

②デフリンピックをフェイスブックやツイッター等のSNSで発信しよう！

グッズの写真や選手のこと、また「デフリンピックって知ってる？」など発信して、デフリンピックを広めてください。

③寄付をしよう！

個人、法人を問わず広く皆様からのご支援をお願いします。

<http://www.jfd.or.jp/about/shienkifu>



支援・寄付金
受付のページQRコード



デフリンピック

デフリンピアンに聞いてみました!!

デフリンピックに出場すると、何がどう変わるのでしょうか。

出場後の意識の変化を中心に聞いてみました。

- 出場したデフリンピック／競技
- ① デフリンピックはどんなところ?
- ② デフリンピックに出場して自分の中で、変わったところは?

藤原 慧

Satoi FUJIHARA

● 2017サムスン大会出場／水泳競技

- ① それまではきこえる人の大会にしか参加したことのなかった私にとっては、きこえない私自身をオープンにし、私の存在を最大限にアピールできる場所でした。
- ② それまでは周りの目を気にしていたため、手話言語はできるだけ使いたくないと思っていました。しかし、デフリンピックをきっかけに手話言語はきこえない人にとって大切な言語だと気づき、今、手話言語を勉強中です。

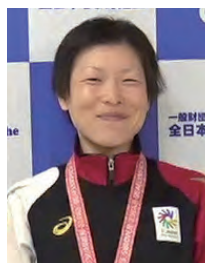


簀原 由加利

Yukari MINOHARA

● 2009台北大会／バスケットボール競技 2013ソフィア大会、2017サムスン大会／自転車競技

- ① テレビで見たオリンピックとパラリンピックの光景と全く同じです!世界から集まるデフ強豪アスリート達が最高のパフォーマンスを出し、自分の結果も残せる私にとってとても貴重な場です。
- ② これで3度目の出場ですが、今大会でようやく自転車競技でメダルを獲得することができました。自己意識を高めることができるようになったのは、チームの仲間とライバルである海外の強豪選手のおかげです!



田井 小百合

Sayuri TAI

● 2013ソフィア大会、2017サムスン大会／ 陸上競技(100mハードル)

- ① 自分らしくいられる最高の場所。デフリンピック独自の競技環境、そして手話言語やジェスチャーで他国の人々と友好を深められる、独特かつとても魅力的な競技大会だと思います。
- ② 自分の障害に対してより前向きになりました。すばらしい経験をもっと味わいたいと思ったし、何らかの形で今後活躍が期待される若い選手の力になりたいと感じています。



に参加した人たち

日本選手団本部のお仕事

選手たちがデフリンピックという大舞台で輝けるよう、選手団本部は連日、手厚いサポートで彼らを支えています。

サムスンデフリンピックでは、20名のスタッフがそれぞれの専門的な知識や技術を活かして選手たちを裏からサポートしました。



団長

選手団はさまざまな競技団体から選ばれた選手やスタッフです。この200人近くの選手やスタッフが最大のパフォーマンスができるよう、また日本の代表として誇りを持ち、心が一つになるようまとめていきます。

総務

選手たちが選手村へ入村する前から何度も現地視察を行い、準備を整えます。大会が始まってからは、競技結果や選手たちの活躍を日本に向けて発信します。また、選手たちが快適な競技生活を送れるよう、サポートを行います。

医師・トレーナー

朝早くから遅くまで選手たちのメディカル面をチェックし、選手たちの体調管理を行います。選手にケガがあれば、競技会場に駆けつけたり、ドーピング検査を受けるときは付き添うなど、24時間気苦労が絶えません。

手話言語通訳・ 現地語通訳

医師やトレーナーと選手のコミュニケーションを手話言語通訳で支援します。また、現地のボランティアや関係機関との話し合いや資料を確認する際、日本語に通訳する人も必要です。

輸送サポート

選手団の出国、選手村入りから、毎日の競技会場移動、選手村へ運び込む競技用品や物品などの管理や輸送を支えます。

第23回 夏季デフリンピック競技大会

第23回夏季デフリンピックは、トルコのサムスン市で2017年に開催されました。日本からは177名(選手108名、スタッフ69名)の選手団を派遣しました。日本選手団の大活躍により、過去最高のメダル獲得数27個(金6、銀9、銅12)となりました。

デフリン 活躍した

水泳 Swimming

藤原 慧 (ふじはら さとい)

Satoi FUJIHARA

サムスンでの成績

金 3 銀 4 銅 2

- 金 男子400m自由形
- 金 男子1500m自由形
- 金 男子400m個人メドレー
- 銀 男子200mバタフライ
- 銀 男子200m自由形
- 銀 男子4×200m自由形リレー
- 銅 自由形リレー
- 銅 男子4×100mメドレー
- 銅 男子200m個人メドレー
- 銅 男子4×100m自由形リレー



陸上 Athletics

山田 真樹 (やまだ まき)

Maki YAMADA

サムスンでの成績

金 2 銀 1

- 金 男子200m
- 金 男子4×100mリレー
- 銀 男子400m



バレー Volleyball

宇賀耶 早紀 (うがや さき)

Saki UGAYA

サムスンでの成績 金 女子バレー金メダル

2度目の出場。今大会キャプテンを努め、全試合ストレート勝ち、4大会ぶり2度目の金メダルへ導きました。



ピックで 選手たち

第18回 冬季デフリンピック競技大会

第18回冬季デフリンピックは、ロシアのハンティ・マンシースク及びマグニトゴルスクで2015年に開催されました。日本からは48名（選手22名、スタッフ26名）の選手団を派遣しました。そして、冬季デフリンピックとして過去最高のメダル獲得数5個（金3、銀1、銅1）となりました。

スノーボード・パラレル



原田 上 (はらだ のぼる)

Noboru HARADA

ハンティ・マンシースクでの成績 **金** 2

金 パラレル大回転種目 **金** パラレル回転

スノーボード・男子ハーフパイプ



津久井 康友 (つくい やすとも)

Yasutomo TSUKUI

ハンティ・マンシースクでの成績 **銅** 1

銅 男子ハーフパイプ

スノーボード・女子ハーフパイプ



大川 摩耶子
(おおかわ まやこ)

Mayako OHKAWA

ハンティ・マンシースクでの成績

銀 1
銀 女子ハーフパイプ

花島 良子
(はなしま りょうこ)

Ryoko HANASHIMA

ハンティ・マンシースクでの成績

金 1
金 女子ハーフパイプ

きこえない選手

一般の競技大会に参加したときは？

きこえない選手の不安を 無くすために配慮をしましょう

さらなる競技力の向上を目指して、きこえない選手が一般の競技大会に参加することがよくあります。しかし、きこえない選手は大会における情報保障や配慮があるかどうかと、いつも不安に感じています。例えば、開会式の内容や運営スタッフの指示、競技の時に名前を呼ばれてもわからない等と不安がいっぱいです。大会の運営組織はきこえない選手が参加したときは、情報保障や配慮を行ってください。また、大会出場申込書に「配慮してほしいこと」という欄を設けてみてはどうでしょうか？



学校体育や部活動に参加したときは？

きこえない学生もスポーツを楽しめる環境を

きこえない学生が体育授業や部活動に参加をするときに困る場面の一つがミーティングです。特に団体競技では、ミーティングで戦略等の指示を受けたり、チームメイト同士で話し合います。

しかし、きこえないとついていけなかったり、また意図をつかむことができません。



これでは楽しいスポーツも、きこえない学生にとっては苦痛なものになってしまいます。

ホワイトボードを使い、指示の内容を具体的に文字にする等、視覚的な方法できちんと伝えるようにすることが大切です。

の未来のために

きこえない選手の競技力向上のために

指導の際には視覚的な工夫を

実は、競技力向上に音が大きな役割を持っていることが多いのです。例えばプロ野球選手は「打球音は次のプレーにすぐ移るときの大きな判断となる」、「バットが風を切る音で自分のスイングの善し悪しがわかる」といいます。

競技中に発生する音は競技力の向上に欠かせない重要な情報です。それがきこえないということは競技力向上の壁となります。きこえない選手に指導する際には、スマホやタブレット等で動画を撮影して、それを見せながら指導する等、視覚的な工夫が必要です。



指導するときに気をつけたいことは？

動作と説明はそれぞれ区切って 交互にしましょう

コーチが指導する際、実際に実演しながら説明をすることがあります。しかし、動作と説明が同時だと、きこえない選手はどちらを注意してみればよいのかわからず理解できないまま終わってしまいがちです。

指導の意図が伝わっていないと、競技力向上につながりません。

まず、説明を文字や図で示し、次に動作を実演して見せる、そしてまた文字や図で説明をするというように、動作と説明は区切って交互に行うと良いでしょう。



きこえない選手が 研修に参加するときは？

手話言語通訳や要約筆記を
配置してください



競技選手は健康管理やアンチ・ドーピング規定、ドーピング予防の知識を学ぶことが必要となります。特に、市販の風邪薬や花粉症の薬、サプリメントに禁止物質が含まれていることを知らずに飲んでしまう「うっかりドーピング」はとても怖いものです。競技選手のために、さまざまな研修が行われていますが、情報保障(手話言語通訳や要約筆記等)がないと、きこえない選手は研修の内容を理解することは極めて困難です。

きこえない選手が研修を受けるときは、情報保障環境を十分に整えてください。

デフスポーツの発展のためには？

きこえない指導者を育てましょう

障害のある指導者が同じ障害のある選手を指導することは、ピアサポートの観点から見ても効果が高いのです。競技指導者の世界でも、ようやく少しずつですが、一般の競技指導者の資格を持つきこえない指導者が増えています。

指導者、コーチ、スポーツ栄養士、スポーツトレーナー等の資格を取るためには、講習や認定試験の受験が必要となります。きこえない人がこれらの資格を取得するために講習や試験を受けるときは、情報保障の配慮をしてください。

指導者講習会での手話言語通訳

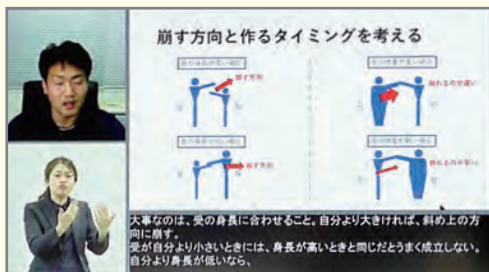
日本障がい者サッカー連盟(JIFF)による手話言語通訳費用補助制度

JIFFでは、きこえない人・きこえにくい人がサッカーやフットサルの指導者講習会へ参加できるようにするため、講習会の主催者に対する手話言語通訳者費用を補助する制度を2018年から設けています。きこえない人が手話言語通訳者を連れていくのではなく、「主催者側で手話言語通訳を手配する」ことを補助することで、意識付けを持たせる役割も持たせています。障害のある人があらゆる場面でスポーツに参加しやすくなるという意味でもとても良い事例です。制度の資金は寄付金で賄われています。

オンライン研修のときはどんな配慮を？

きこえない人が参加していることを
念頭に入れましょう

オンライン会議ツールを活用した研修にきこえない人が参加するときも、情報保障がもちろん必要です。そのときは、オンライン研修の画面を工夫して見やすくしましょう。例えば、画面に講師、資料、手話言語通訳、要約筆記の4画面を表示する、その際には手話言語通訳と要約筆記の画面は並べて配置すると、きこえない人にとっては視線の移動が極力少なくて済みます。また、講師も手話言語通訳や要約筆記のスピードを考慮し、ゆっくり話すよう、心がけましょう。



指導のとき、 手話言語通訳者がいれば大丈夫？

より良い手話言語通訳を行うために
十分な打ち合わせを

指導の際、手話言語通訳者がいると、きこえない選手への指導の効果が高まります。手話言語通訳者は指導者のそばにつき、指導者の指示や説明を通訳したり、指導者が実演をするときは、通訳者も一緒に動きながら通訳をします。

そのときに気をつけなければならないのは、競技ルールやテクニク、戦術等の難しい言葉を通訳するために、手話言語通訳者もこれらのことを理解しておく必要があります。

指導者は手話言語通訳者と十分に時間を取り、打ち合わせをしてください。



手話表現をしてみよう!

デフリンピック コラム

この冊子に出てくる代表的な言葉の手話表現を紹介します。

デフリンピックA

国際手話で使われている
〈デフ〉と〈オリンピック〉を
組み合わせた表現です。

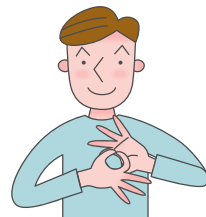
人差し指を立てた右手を耳、
口の順にあて、2指の輪を交
互に結び合いながら横に動
かす



デフリンピックB

デフリンピックを主催する
国際ろう者スポーツ委員会
(ICSD)で使われている表現
です。

両手2指で輪をつくり、輪を
向かい合わせるようにして
交互に2回つける。



にほん【日本】

弓なりになった日本列島の
形を表しています。

両手の親指と人差し指を
つけ合わせ、左右に開き
ながら閉じる。



せんしゅ【選手】

腕を軽くはたいて腕前を見
せるさまを表しています。

左こぶしの甲に親指を立
てた右手を軽くかすめる
ように当て、上にあげる。



スポーツ

運動競技全般の総称です
が、走るさまで〈スポーツ〉
を表します。

指先を前に向けて向い合
せた両手を交互に前に出
すように回す。



おうえん【応援】

旗を振って応援するさまを
表わしています。

両こぶしを握り、旗のつ
いた棒を左右に振るよう
にする。



国内にあるデフスポーツ団体一覧

一般社団法人日本デフ陸上競技協会
一般社団法人日本デフバドミントン協会
特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会
一般社団法人日本デフビーチバレーボール協会
一般社団法人日本ろう者ボウリング協会
一般社団法人日本ろう者自転車競技協会
一般社団法人日本ろう者サッカー協会
特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会
一般社団法人日本ろう者空手道協会
日本デフオリエンテーリング協会
一般社団法人日本ろう者スキー協会
※アルペンスキーチーム、アルペンスノーボードチーム、
スノーボードフリースタイルチーム、
クロスカントリースキーチーム、カーリングチーム
ジャパン・デフ・アーチェリークラブ
一般社団法人日本ろう野球協会
日本ろう者ソフトボール協会
一般社団法人日本ろう者水泳協会
一般社団法人日本ろう者卓球協会
一般社団法人日本ろう者テニス協会
一般社団法人日本デフバレーボール協会
特定非営利法人全日本聴覚障害スキー指導員会
一般社団法人日本デフサーフィン連盟
特定非営利活動法人日本聴覚障がい者ラグビーフットボール連盟
一般社団法人日本ろう者柔道協会
一般社団法人日本デフセーリング協会

デフスポーツ
団体サイトのURL

<http://www.jfd.or.jp/sc/sportsassoc>

一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会

〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階

TEL.03-3268-8847 FAX.03-3267-3445

E-mail jfd-sc@jfd.or.jp URL <https://www.jfd.or.jp/sc/>



- 【参考】・門脇肇(2017):聴覚障害のある競技者とスポーツとの関わりーデフスポーツに対する意識変容過程に着目してー,平成28年度筑波大学人間総合科学研究科体育学専攻修士論文
・榎本優子(2014):聴覚障害が陸上競技のパフォーマンスに及ぼす影響について,平成25年度筑波大学体育専門学群卒業論文
・中島幸則・桜庭景植・笠井美里[他]・竹腰英樹・金玉蓮・加我君孝(2010):成人先天性聴覚障害者の平衡機能と視機能の評価,日本臨床スポーツ医学会誌,18(2),297-304
・齊藤まゆみ(2011):聴覚障害者の体力・運動能力と視機能,障害者スポーツ科学,9(1),3-14
・砂田武志(2000):ろう者とスポーツ,現代思想編集部,青土社,152-155



『デフリンピック マーク』

「手話言語」「ろう文化」「結束と継続」といった
強いメッセージを表現しています。

またロゴマークの中央は「目」を表し、
ろう者が視覚中心の生活を営んでいることを
示しています。

このパンフレットは、スポーツ庁委託事業「令和3年度障害者スポーツ推進プロジェクト」
(障害者スポーツ団体の連携及び体制整備への支援事業)により作成しました。